

四国支部 平成 29 年度事業報告

平成 29 年度は研究会の活発化に重点を置き、活動を展開しました。2 月の支部総会・年次研究大会と、3 月、8 月、10 月の研究会であわせて 4 回の研究会を実施しました。

(1) 支部総会・年次研究大会

日時：平成29年2月16日（木） 13:30～18:00

場所：株式会社DynaxT

協賛：日本経営システム学会中国・四国支部

後援：特定非営利活動法人ITコーディネーター協会

支部総会では、平成28年度事業報告・決算報告、平成29年度事業計画・予算、会計監査を審議し、了承を得ました。また、板倉支部長が退任され、新支部長として久米支部長が選出されました。会後の年次研究大会では、株式会社 時有人&TimeAge 代表取締役社長の清水 宏一様による特別講演のほか、会員企業から4件の発表がありました。講演・発表後の質疑応答では活発な意見交換が行われ、充実したものとなりました。

<特別講演> 「Beyond (Kyoto Digital Archives) プロジェクト」

講師：清水 宏一氏（株式会社 時有人&TimeAge 代表取締役 社長）

<発表1> 「日本人の日本人による日本人のためのクラウドへの挑戦」

発表者：森本隆大氏（株式会社 STNet クラウド技術部）

<発表2> 「プロジェクト品質の向上に向けて～ PMO組織の推進・強化 ～」

発表者：高橋 暢壮氏（中央コンピューター株式会社）

<発表3> 「DYNAXT 経営・管理可視化ツール」

発表者：古川 友樹氏（株式会社 DynaxT）

<発表4> 「システム構築プロジェクトの現状と課題」

発表者：加地 奈緒子氏（株式会社 DynaxT）

(2) 第 2 回研究会

日時：平成29年3月3日（金）

場所：株式会社 DynaxT

共催：地域デザイン学会、香川大学技術交流協力会

後援：特定非営利活動法人 IT コーディネーター協会

講演題目1：「人工知能理論・技術の変遷と現在」

講師：本田道夫氏（MarthPub Center 会長、香川大学 名誉教授）

講演題目2：「人工知能開発の取り組み～DynaxTのケース～」

講師：大和田昭邦氏（株式会社 DynaxT 代表取締役）

(3) 第3回研究会

日時：平成 29 年 8 月 9 日(水) 10:00～12:00

場所：香川大学林町キャンパス

共催：香川大学工学部，香川大学社会連携・知的財産センター

後援：特定非営利活動法人 IT コーディネーター協会

講演題目：「IT 産業の変化と IBM Watson による新しい価値創造」

講師：下野 雅承氏（日本アイ・ビー・エム株式会社 副会長）

講演概要：飛躍的な進歩を遂げている AI は、人間の知能を拡張するツールであり、社会変革に資する大きな付加価値を創出します.IT 産業の変化を概観し、すでに多様な産業で AI が導入され、先端技術を使ったビジネスが次々登場している事例も通じて今後の社会の展望について講演していただきました。

(4) 第4回研究会

日時：平成 29 年 10 月 31 日（火）14:00～16:00

会場：香川大学林町キャンパス

共催：香川大学工学部，香川大学社会連携・知的財産センター

後援：特定非営利活動法人 IT コーディネーター協会

講師：富永 章氏（PMラボラトリー代表、東京大学大学院非常勤講師、三菱総研客員研究員等）

講演題目：「良いPM実践は、隗より始めよう」

講演概要：現代のプロジェクトの内容は変化しがちですがそれを乗り切るには、PM トライアングルを逆に捉えた DSDM（動的システム開発法）等が推奨されます。しかしそういことができるには、目的・目標の構造がしっかりしていなければならない、これは人生でも同じことです。プロジェクトを予定通りに進めるには予実対比が要りますが、それには予定が必要であり、そして実施こそは何よりも欠かせません。個人でやる気が出ない場合を考えればすぐわかります。ではそんな時、どうすれば良いのか。プロジェクトに堂々と挑戦し、想定外を乗り切るには、そこに考え方と自信が必要であり、そのためにどうすればよいか？について講演していただき、実践に役立つ方策を議論する場となりました。

以上